

# 12月定例会一般質問

12月定例会では、12月5日・6日の2日間で一般質問が行われ、会派を代表して7名の議員が市政全般にわたり、質問を行いました。

紙面の都合上、質問者が要約したものを掲載しています。

なお、一般質問の様子は尾道市議会ホームページでご覧いただくことができます。ぜひご利用ください。



市議会ホームページアドレス

<http://www.city.onomichi.hiroshima.jp/www/assembly/index.jsp>

「本会議録画中継」からご覧になりたい会議名を選んでください。



新和会  
まきはた  
巻幡 伸一  
しんいち

## 瀬戸内しまのわ2014 について

**問** 主要イベントで尾道市の関係したイベントはどんなものがありますか。

期間中に80万人の来場者を目標とし、市沿岸部や島嶼部を現代アートで彩る計画をされていますか。

**答** 春には、「散歩散走イン尾道」で、ロングライド、ランニングバイクなどのサイクリングやウォーキングイベントを実施します。

夏には、「瀬戸内水軍まつりイン尾道」で、因島水軍まつりと瀬戸内エリアの水軍との交流企画など計画されています。

締めくくりの秋は「現代アートとお茶の祭典イン尾道」で市内各所で現代アートの企画展示や瀬戸田の現代彫刻「しまごと美術館」との連携企画を実施、また、寺院や他の施設を活用して「尾道大茶会」を開催します。

フィナーレは、しまなみ海道を使った大規模な国際サイクリング大会を今治スタート、尾道駅前ゴールで実施します。

## 因島東生口公民館について

**問** 因島原町、因島洲江町が利用している東生口公民館は老朽化も激しく、耐震強度もなく、海に隣接した低位置にあり、大会議室は2階にあるため高齢者の負担も重く、諸設備も古く、防災拠点や避難場所として適しません。歴代区長会長たちの遺言であり、町民の切実な念願でもある建設に向けての計画について、お尋ねします。

**答** 学校統合により、東生口小学校が閉校し、学校跡地を公民館建設用地として活用することが可能になりましたので、まず、旧校舎棟の解体を考えています。公民館建設に向けて施設の規模や機能等について地元と協議してまいります。

## 公民館活動について

**問** 全国でも尾道市、中でも因島の公民館活動がどこよりも活発で先進地であり、積極的に全国に向けてPRができると思います。その中でも中庄公民館の活動内容が抜群ではないでしょうか。お伺いします。

**答** 因島地区の公民館活動は、地域に密着した活発な活動をされています。その成果に対して国や県の公民館表彰等へ推薦する取り組みをさせていただきました。



新風クラブ  
たがしろう  
のりやす  
田頭 敬康

## 長江線の拡幅整備促進について

**問** 都市計画道路長江線は、古

代から備後中部と尾道を結び、尾道発展の礎となった道路です。ところが、この路線整備は、いま国道184号から長江中学校まで、止まっています。

平成26年度には、中国横断自動車道尾道松江線が、全線開通する予定です。

については、これを契機として、長



狭い長江線

江線の長江中学校から、長江口JR高架橋下までの拡幅整備促進について、県へ猛要望をすべきだと思いますがどうですか。

**答** 都市計画道路長江線は、本市の南北幹線として、重要な路線に位置付けております。そうしたことから、長江中学校から長江口JR高架橋下までの整備については、いままでも、尾道市の主要事業として、県へ要望しています。

今後、早期整備が必要な路線として、引き続き県へ要望してまいります。

## 中学校給食の早期全校実施について

**問** 中学校教育の公平、平等という観点から、現在市内の一部の中学校だけで、実施されている

中学校給食を、すべての中学校で、早期に実施すべきではないですか。

**答** 中学校給食については、学校給食法の趣旨や公平性の観点から、課題として捉えております。実施に当たっては、家庭弁当を希望する生徒等への配慮から、民間事業者から配送する、デリバリー方式との併用で、早期実施に向けて、モデル校への導入について、施設・運営面などの検討をしております。

## 尾道市における「Wi-Fi」の整備状況について



市民連合  
だんじょう  
まさみつ  
檀上 正光

**問** スポット（公衆無線LANアクセスポイント）のサービスが始ま

っていますが、その機能と特徴・目的や効果・今後の取り組みについて伺います。

**答** 本事業は、Wi-Fi対応のスマートフォン等からインターネットに無料接続できます。一般的な無料公衆無線LANと異なり利用に際して事前の登録作業や規約の承諾は不要です。尾道のPR、外国人観光客への情報提供と利便性の向上、尾道を訪れた人からの情報発信が新たな観光客の増大につながります。公共施設をはじめ観光関連民間施設29カ所に設置しており、公共施設の増設を始め民間施設へも増設のためにご理解をいただけるよう取り組んでいます。

## 耕作放棄地解消と農業振興の施策について

**問** 耕作放棄地の増加、高齢化の

進行で農業・農村の疲弊は進むばかりです。①耕作放棄地の解消と

農業振興策 ②後継者・新規就農者対策 ③「小規模兼業農家」「生きがい農業に取り組む高齢者農家」などへの対策について伺います。

**答** ①比較的条件の良い耕作放棄地は農家に対し農地へ復元、利用するための指導、助言を行って

います。本市では米・野菜・柑橘などの果物等多種多様な農産物が栽培されています。「農業振興ビジョン」を策定し、本市農業の統一の考えを持つて農業振興に取り組んでいます。②国の各種制度を利用したり本市独自の制度により後継者の育成・確保に取り組んでいます。新規就農者のための相談窓口の設置に向けた協議も始めています。③農業塾を実施しているJAと連携するとともに、地域農業を支える担い手として育成する施策を研究していきます。



段々畑のキャベツと柑橘





誠友会  
柿本 和彦  
かきもと かずひこ

### 土曜授業の実施について

**問** 土曜授業の実施について、どのように考えていますか。また、どのようなプログラムが望ましいと考えていますか。

**答** 土曜授業の目的や実施日数などの大きな方向性を示し、各校がその地域の実情に応じて、進めていくことが適切であると考えています。地域の人材や教材の用意、施設の活用など、各学校の実態を踏まえた学習プログラムを作成することが必要となりますので、実施に向けて、効果的なあり方など、より具体的に検討してまいります。



郷土料理教室(お雑煮づくり)

### 職員研修プログラムについて

**問** 研修の学びから自らの目標を設定し、組織のニーズ達成と個人のやりがい結びつける仕掛けを作ってはどうか。

**答** 研修終了後、報告書を提出させ研修内容を振り返るとともに、職場内で研修内容の共有化を図っています。また、研修によっては、2カ月後、意識・行動の変化を確認していますが、受講した内容を日々の業務の中で実践につなげ、そのことを検証していく仕組みづくりについては、提言の日報の作成といった手法も含めて研究してまいります。

### 公民館活性化によるまちづくりについて

**問** 公民館を交流機能などを持つた『まちの駅』として登録することを検討してはどうか。

**答** 公民館は、社会教育施設として、多様な学習機会を提供する場であることから、教育委員会としては、利用しやすい施設として、機能の充実に努めてまいりたいと考えています。『まちの駅』が、人と人とが交流し、地域の活性化につながる一つの手法であることから、市長部局と連携し、公民館以外の施設での可能性について、研究してみたいと考えています。



公明党  
荒川 京子  
あらかわ きょうこ

### 防災について

**問** 南海トラフ地震による尾道市の被害想定で、死者1740人、全倒壊数1万881戸、避難所生活者数2万6000人という広島県地震被害想定調査報告書をどのように受け止めていますか。

**答** 今回の報告書は、起こりうる最悪のケースを想定したものとはいえ、衝撃的な数値であり、危機感を持って受け止めており、減災のための取り組みを全市的に推進していかなければならないと考えています。

災害時電源確保については、各中学校に簡易発電機を配置しています。小・中学生の地域防災訓練への参加については、一人でも多くの児童・生徒が参加できるように、各町内会や自主防災組織に働きかけていき



### 市庁舎整備について

**問** 現在の日本の状況は東北復興事業、オリンピック、東京直下や南海トラフ大地震への備え、老朽公共インフラ工事などに加えて資材高騰、技術者人材不足、入札不調があります。市長はこうした全国的な状況をどのようにお考えですか。

**答** 状況については私も承知しています。

しかしながら、庁舎整備も含め、本市にとって真に必要な事業につきましては、責任を持って適時・適切に進めてまいりたいと考えています。

### ICT機器推進授業について

**問** 市内全小中学校に電子黒板が整備されているが、利用されていないという声をよく聞きます。利用状況、活用研修会の開催内容、利用促進に対して改善はありますか。

**答** 利用が特定の教員にとどまっておらず、学校全体に広がっていない、といった課題があります。各校の情報教育担当者を対象に、年一回行っている研修も、本年度は内容を見直し、ソフトウェアの効果的な使い方の実習と、各校での活用をひろげいくための協議を中心に実施したところです。



Witho no Michi  
二宮 仁

## ペリーと日本にやって来た 仙太郎の顕彰について

**問** 1853年7月、久里浜に上陸したペリーは日本へ開国を迫る宿題を置いて一旦日本を去り、翌1854年2月に再び黒船で現れ、日米和親条約を締結しました。そのペリーとともに黒船に乗り日本へやってきた唯一の日本人が瀬戸田町出身の仙太郎であり、日米和親条約を受けて1860年に米国へ渡った幕府の軍艦咸臨丸にも尾道人、土居咲吾が乗っていました。「日本の開国・開港を支えた尾道人」として顕彰したいものです。既に取り組んでいること、今後の予定など具体的な事案はありますか。

**答** 海事都市尾道推進協議会により、冊子「尾道の海をめぐる歴史と文化」を発行し、仙太郎氏も含めて海事人物伝として紹介しております。また、尾道商業会議所記念館において尾道学研究会と連携して本市ゆかりの企業家を紹介する企画展示を開催しております。教育委員会や民間の団体・個人の方々と引き続き連携してまいります。

## 全国仮装大会inおのみちについて

**問** 今年9月、第2回全国仮装大会inおのみちが盛大に開催されました。インターネットの中にも仮装大会に関連した情報が多いと思われませんが、開催しての感想、今後の取り組みをお聞かせいただけます。

**答** 第1回大会の81組・588名から第2回大会の101組・809名と賑やかさを増し、来場者数も昨年の約7万2千人から10万5千人に増加いたしました。参加者も観衆も非日常感を味わい、積極的に楽しもうとする相乗効果が生まれております。実行委員会では平成26年にも開催を予定されていると伺っております。

## 住居表示について

**問** 街角や公共施設の住居表示は、誰がどのように推進していきますか。長期的な考えもお聞かせいただけます。

**答** 住居表示は「住居表示に関する法律」に基づき、区域を定めて実施するものです。尾道バイパス以南の区域について実施してきており、新たな住居表示の実施については、慎重に研究してまいります。



日本共産党  
おかの  
岡野 長寿

## 因島南小学校開設による通学の安全について

**問** 因島南小学校の開設による通学の安全についてどう考えていますか。①スクールバスの運行 ②信号機の設置などで児童の安全に万全をつくすべきではないですか。

**答** ①バス通学は路線バスの活用が可能な場合はこれを基本にしています。バス道路まで一定の距離があることなどもあって、スクールバスの運行要望もいただいております。関係者の皆様との合意形成に努めたいと考えています。②信号機の設置は県道と小学校入口の交差点は通勤車両も多く、児童の登下校時の横断に際し、安全に問題があると認識しています。教育委員会としても児童の安全確保のため、因島警察署に対し、信号機の設置を要望しています。警察署からも要望箇所の交通実態を精査のうえ、警察本部へ協議する旨の回答をいただいております。

## 道路整備について

**問** ①三庄町家老渡～土生町安郷区間の県道拡幅、離合場所の設

置について ②中庄町西浦の県道拡幅について ③地蔵鼻への観光道路整備についての考えを伺います。

**答** ①の県道については、将来の交通量の見込みなどから、都市計画道路の区間廃止がされ、県が重点的に行う道路整備計画にも位置づけられていません。しかし、現状においては、交通安全の確保や走行性の改善などの課題があるため、県へ要望を行っており、県からは待避的な整備であれば検討は可能であるとの回答を得ていません。

②の西浦地域の通学路について、この地域は道路拡幅が困難なため、側溝への蓋掛けを要望し、今年度から着手すると伺っています。海岸の護岸敷を利用した迂回路の設定については今後研究します。

③この道路の終点部の折古地区の道路整備を優先したいと考えています。地蔵鼻への道路拡幅については、観光資源の活用策や用地確保などの諸課題があることから、今後、研究します。



通勤時に混雑する県道(家老渡～安郷)